

請 願 文 書 表

(平成30年6月15日)

<p>受理番号・受理年月日及び件名</p>	<p>請願第30号 (30. 6. 6) 子供の医療費を中学校3年生まで無料にすることを求める請願</p>
<p>請 願 の 要 旨</p>	<p>今、子育て世代は、長期不況による経済的困難の中でも、子供たちの笑顔に励まされながら、仕事や子育てに懸命に取り組んでいる。しかし「女性の貧困」「子供の貧困」が深刻な社会問題となり、年収200万円以下の「ワーキングプア」1,100万人のうち女性が7割を占めていることから、女性は自立や社会参加することができない状況に追い込まれている。特に子育て世代やシングルマザーの多くは大変な経済的困難を抱えており、非正規雇用の増大や賃下げによる収入減と消費税8%の増税、社会保障の負担増と給付減、さらには子ども手当の廃止と児童手当の削減、年少扶養控除廃止による住民税引上げなど、幾重もの経済的負担が子育て世代を直撃し、「せめて子供の医療費だけは無料にしてほしい」「安心して子育てしたい」と切実な声をあげている。</p> <p>今、兵庫県下では市民の願いと自治体の努力で41市町のうち8割以上の36自治体で中学校3年生まで無料化が広がっている中、神戸市では一部負担金が400円になったものの無料は3歳未満児までと変わらず、大変遅れている。「同じ兵庫県に住みながら自治体によってなぜこんなに違うのか」「どこに住んでも子供の命の大切さは同じ。子供の医療費は中学校卒業まで無料にしてほしい」という子育て世代の要求は切実である。</p> <p>市長は市長選挙で「中学校卒業までの無料化」を公約に掲げた。子供たちの健やかな成長を社会的に保障し、保護者の医療費負担を軽減し、安心して子供を産み育てられる神戸市を目指し、子供の医療費を中学校3年生まで無料にするよう請願する。</p>
<p>請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市中央区 新日本婦人の会 中央支部 支部長 大 西 照 美 ほか8名</p>
<p>紹 介 議 員 の 氏 名</p>	<p>(代表) 赤 田 勝 紀 あわはら 富夫</p>
<p>付 託 委 員 会</p>	<p>文教こども委員会</p>